

日本繊維技術士センターの本部事務所の住所が変わりました。

〒550-0004 大阪市西区靱本町2丁目7番4号 シツカビル 502

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。

<JTCC開催講座のご案内>

(対面講座のコロナ対策:募集人員の制限、体温が37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

●令和7年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

●令和7年度の日程が決まりました。 詳細は日本技術士会のホームページをご覧ください。

| 項目 | 技術士一次試験 | 技術士二次試験 |
|---------------|---|-----------------|
| 受験資格 | 制限なし | 技術士一次試験合格者 |
| 受験申込書の配布 | 令和7年6月9～26日 | 令和7年3月24日～4月16日 |
| 受験申込書の受付(写真要) | 令和7年6月11日～26日 | 令和7年4月1日～16日 |
| 試験日 | 令和7年11月23日(日) | 令和7年7月21日(月・祝日) |
| 筆記合格発表 | 令和8年2月 | 令和7年11月 |
| 口頭試験 | なし | 令和7年12月～令和8年1月 |
| 技術士資格合格連絡 | 官報にて告示、本人宛に合格書送付 | |
| 試験会場 | 北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県 | |

●JTCCにおいて、技術士第一次試験の受験講座を開催します。(募集は終了しています)

| 日程 | 科目 | 講義時間 |
|----------|-----------|--------------|
| 7月26日(土) | 適正科目、基礎科目 | 9時30分～16時30分 |
| 8月9日(土) | 基礎科目 | 9時30分～17時 |
| 8月23日(土) | 専門科目 | 9時30分～17時10分 |
| 9月6日(土) | 専門科目 | 9時30分～17時 |
| 9月20日(土) | 模擬試験 | 10時～15時10分 |
| 10月4日(土) | 模擬試験解答解説 | 9時30分～16時20分 |

詳細は日本技術士会のホームページをご覧ください。

●2025年度 JTCC 技術士第二次試験受験講座は終了しました。

●「2025年度 TES 受験講習会(オンライン)」のご案内

●2025年度 TES 受験講座は終了しました。

●2025年度 新入社員のための「分かりやすい繊維基礎講座」のご案内

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本講座は、繊維関係の会社に就職された新入社員の方々や、初めて繊維関係のお仕事をされる方々、および繊維に関する基礎的で実用的な知識を学ばれたい方々のための「分かりやすい繊維基礎講座」です。

1. 講座の趣旨

対面講座については大阪市内あるいは近郊の繊維関係会社(繊維メーカー、アパレル製造・販売会社、衣料量販店、百貨店、商社、繊維団地など)の社員の方々を対象に、平日の夕方、会社業務がほぼ終わりになる時間より開催します。対面講座の会場は、地下鉄御堂筋線:本町駅に近い、輸出繊維会館 6 階の日本繊維技術士センター(JTCC)大阪事務所です。

また、同時に講義内容をオンライン配信いたします。

2. 講座の主な内容

講義は JTCC(日本繊維技術士センター)所属の技術士が担当し、画像や現物サンプルなどを用い、目・耳・手を駆使して繊維を理解して頂くよう、カリキュラムを工夫しています。またオンライン配信ではその様子をご覧になっていただきます。

詳細内容および申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

●令和7年度「繊維の基礎～素材から製品まで～」講座

Aコース(土曜日コース):2025年10月25日(土)、11月8日(土)

Bコース(日曜日コース):2025年11月9日(日)、11月16日(日)

詳細はホームページをご覧ください。

●令和7年度「繊維寺子屋」

Aコース(素材、布編):2026年1月17日(土)、24日(土)

Bコース(アパレル編):2026年2月7日(土)、14日(土)

詳細は後日連絡します。

●「知っておきたい繊維産業資材の基礎と用途展開」講座

1. 日程 2025年8月30日(土)、9月6日(土)の2日間
2. オンライン方式で開催(Microsoft Teams を使用)

●JTCC「公開講演会」

第5回先端繊維技術セミナー

2025年9月13日(土) 13:30~16:30

| | |
|-----|--|
| 演題1 | 「ポリエステルケミカルリサイクル:PET ボトルや廃材からの化学品合成」 東京都立大学大学院 理学研究科化学専攻 教授 野村琴広氏 |
| 演題2 | 「超臨界 CO ₂ 流体染色の実用化に向けて」 (株)フジックス 生産部研究開発室 室長 伴野統哉氏 |

申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

問い合わせ先: 日本繊維技術士センター(JTCC)本部 担当 源中 TEL:06-6484-6506

今年もやります！

「実践の染色講座」 オンライン講座開催・募集のご案内

昨年ご好評をいただいた「実践の染色講座」を今年も下記の日程で開催します。

2023年に、JTCCが編集・執筆し、(株)ファイバー・ジャパンから発刊された「実践の染色読本」を推奨テキストとした全15講座・1,090分のフルリモート講座です。

染色の基礎技術から、その応用・同設備・環境対応、および省エネを中心としたSDGsまで、幅広く時代に即した染色技術の今を繰り広げます。

繊維産業技術者の染色技術習得（リカレント）、あるいは染色加工技術者のさらなる知識習得（リスキリング）には最適です。

皆様からのご応募をお待ち致します。

- ▶本件に関するお問い合わせ・お申し込みは、
一般社団法人 日本繊維技術士センター（JTCC）E-mail: jtcc.dye-course@jtcc.or.jp
までお願い致します。 ▶「申込締切日：2025年9月19日（金）」

【講座日程・内容】

| 月 日 | 時間 | テーマ | 講師 |
|----------------------|-------------------|-----------------------------|-------|
| 第1日 10月4日 (土) | 9時30分～10時30分(60) | 1. 日本のテキスタイル生産の概況 | 西中 久雄 |
| | 10時40分～11時50分(70) | 2. 染料概論(染料・染色) | 秋丸 光嗣 |
| | 12時35分～13時45分(70) | 3. 天然繊維の染色(連続染色) | 橋本 嘉顯 |
| | 13時55分～15時05分(70) | 4. 天然繊維の染色(液流染色) | 橋田 佳雅 |
| | 15時15分～16時25分(70) | 5. 再生繊維の染色 | 橋田 佳雅 |
| 第2日 10月11日 (土) | 9時30分～10時40分(70) | 6. 色合わせと色彩管理(CCM、CCK) | 有瀧 宗重 |
| | 10時50分～12時00分(70) | 7. 合成繊維の染色(織物) | 西村 元廣 |
| | 12時45分～13時55分(70) | 8. 合成繊維の染色(ニット) | 西村 元廣 |
| | 14時05分～15時20分(75) | 9. 捺染 | 大島 直久 |
| 第3日 10月18日 (土) | 15時30分～16時45分(75) | 10. 染色機械(インクジェットプリント含む) | 伊藤 高廣 |
| | 9時30分～10時40分(70) | 11. 特殊加工(コーティング、ラミネート) | 上本 雅則 |
| | 10時50分～12時00分(70) | 12. 特殊加工(プラズマ、電子線、超臨界) | 水囊 満 |
| | 12時45分～14時15分(90) | 13. 機能加工(抗ウイルスを除く)と環境規制 | 金崎 英夫 |
| | 14時25分～15時55分(90) | 14. 機能加工(抗ウイルス)と検査品質基準・試験方法 | 越智 清一 |
| 16時05分～17時15分(70) | 15. SDGs 関連 | 森本 國宏 | |

- ・受講料：36,000円(税込)
[ただし、JTCC会員(正・準)・協会員・賛助法人
および同関係会社の方は、33,000円]
受講料は9月27日(土)までにお振込み下さい。
銀行名：三菱UFJ銀行 大阪営業部(店番005)
普通口座番号：3815051
名義人：シヤ ニホンセンイギジユツシセンター
通信欄には「実践の染色講座」と記載ください。
なお、振込手数料は受講生側にてご負担ください。

推奨テキストである「実践の染色読本」
(発行元：株式会社 ファイバー・ジャパン、
定価：10,000円)を、受講者の方には、
特別割引価格 8,000円(税込・送料別550円)
にて販売いたします。

- ・お問い合わせ：(株)ファイバー・ジャパン
Tel. 06-4950-6283
E-mail: info@fiberjapan.co.jp

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

・新着情報なし

2. 環境省

・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会（詳細は化繊協会のホームページ参照してください）

ホームページが変更されています。

「2025年度日本化学繊維協会活動について」が公表されました（7月、8月号と同じ）

1. 環境認識と基本方針

日本を取り巻く環境としては、脱炭素、循環経済などの地球規模の環境問題、ビジネスと人権への対応などサステナビリティ課題の重要性がより強く認識される一方、ウクライナ、ガザにおける紛争が数年にわたって続く中、米国の相互関税問題もあり、経済社会への幅広い影響が懸念される。

このような情勢ではあるが、日本化学繊維協会は、「中期活動方針 2025」にある、1)サステナビリティの推進、2)競争力の基盤維持・強化、3)情報発信の拡充の3つの活動が引き続き重要であると考え、その方向性を継続し推進する。

2. 2025年度の主な活動内容

1)サステナビリティの推進

①「繊維製品における資源循環ロードマップ」への対応

②サプライチェーンにおける支援活動

2)競争力の基盤維持・強化

①標準化活動の推進

②情報収集活動、人材育成

3)情報発信の拡充

4)アジア化繊産業会議

5)協会活動の最適化

6)「中期活動方針 2025」終了後の協会の方向性検討

●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

・新情報なし

●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

・新着情報なし

4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(織技協)、他

●(一社)繊維評価技術協議会(織技協)

・新情報なし

●協同組合関西ファッション連合(KanFA)

・新着情報なし

9月・10月 TES会行事

各行事へのお申込みは、右下に記載された二次元コードから可能です。

また、記載以外の支部・行事も開催しておりますので、詳細については TES 会の公式ホームページをご確認ください。

※『TES 会本部事務局』で検索してください。

中部

第2回 基礎講座セミナー

【日時】 9/20 (土) 13:00～15:00

【場所】 名古屋文化短期大学

【内容】 『産元商社が挑む「産元らしくない」挑戦～新たな繋がりや商機を生む取り組み事例～』

大学との産学連携や三河篇の復刻、マルシェ開催など「産元らしくない挑戦」を通じて新たな商機を創出した森菊(株)の従来接点のなかった顧客や分野からの引き合いが増加した具体例とその過程を講演で紹介いただきます。

講師：森菊(株) テキスタイル1部1課 大羽奈那氏

【参加費】 非会員：2000円
会 員：1000円

【締切】 9/10 (水)



東日本

苦情処理検討会

【日時】 9/25 (木) 14:00～17:00

【場所】 赤羽会館 大ホール
(東京都北区赤羽南 1-31-1)

【内容】 苦情品の検討(2件)に加え、ミニ講座では「検針/日本で検針が必要になった経緯第2弾」をテーマに、検針対応附属や針管理、危険物管理について詳しく解説いただきます。

講師：(株)オンワード樺山 プロダクトグループサブライチェーン管理 Div. 監査 Sec. 木下草広氏

【参加費】 1000円
※TES 会員限定

【締切】 9/15 (月)



九州

第1回 工場見学会

【日時】 10/2 (木) 13:00～16:45

【場所】 奄美の里庭園・大島紬「都喜工門」
美術館 (鹿児島県鹿児島市南栄 1-8-1)

【内容】

13:00 鹿児島中央駅集合

13:50 奄美の里到着

14:00 見学開始 (ガイド付き見学: 専門的な話も可能)

15:30～16:00 見学終了

16:10 奄美の里出発

16:45 鹿児島中央駅到着 解散予定

【参加費】 1000円

【締切】 9/21 (日)



西日本

第2回 繊維勉強会

【日時】 10/31 (金) 13:45～17:10

【場所】 大阪産業創造館5階研修室 A・B

【内容】 講演①『遠赤外線と皮膚血流の促進、疲労回復の関係』講師：神戸女子大学名誉教 NPO 法人 AVA 健康 Labo 理事長 平田耕造氏

遠赤外線が皮膚温度や血流、疲労回復に与える影響を解説。

講演②『繊維産業における LCA の活用について』

講師：一般財団法人カケンテストセンター大阪事業所次長 サステナビリティ推進室長 兼務 樽井栄満氏

製品の環境負荷を評価する LCA の概要と活用法、持続可能性推進の重要性を解説。

【参加費】 3000円

【締切】 web: 9/15 (月)

会場: 10/21 (火)



TESをもっと知ろう

日本衣料管理協会 無料特別セミナー開催のご案内

～ TES資格に興味をお持ちの方、大歓迎！ ～

このたび、日本衣料管理協会では『TES資格』に興味をお持ちの方を対象とした**無料セミナー**を開催いたします。

当セミナーでは、繊維製品の製造から流通・消費についての専門知識をもとに品質管理の実務能力を有する方を認定する『繊維製品品質管理士(TES)資格』と、資格取得後もさらなる勉強ができる『TES会』についてご紹介します。

また、第一講演では、衣料・繊維製品の各機能性素材の加工手法や発現原理を、第二講演では繊維製品の品質管理や事故事例対策など、実務に役立つ知識を各分野の専門家からわかりやすく解説します。

TES資格をお持ちの方も含め、**どなたでも参加できます**。ぜひお気軽にお申込みください！

📅 日時：2025年10月17日（金） 13:30～16:50（受付開始 13:00）

📺 開催：ハイブリット開催

- ・会場：ティアラこうとう 大会議室（東京都江東区住吉2丁目28-36）《定員 180名》
- ・配信：ZOOMウェビナー 《定員 300名》

💡 参加費：無料

📄 内容：

- ・ TES資格制度紹介・TES会入会案内 《13:30～13:50》
挨拶：日本衣料管理協会 副会長 藤田雅夫
- ・ 第一講演
『機能性素材の加工方法と発現原理』 《13:50～15:20》
講師：日本衣料管理協会 理事
前新潟青陵大学短期大学部 教授 丸山尚夫氏
- ～休憩～ 《15:30～15:40》
- ・ 第二講演
『繊維製品の品質管理と事故事例対策』 《15:40～16:40》
講師：日本衣料管理協会 理事
清嶋技術士事務所 清嶋展弘氏

📄 詳細・お申込み・お問合せ：

[日本衣料管理協会ホームページ](https://www.jasta1.or.jp/index.html) << <https://www.jasta1.or.jp/index.html> >>

[TES会事務局ホームページ](https://www.jasta-testa.jp/tes-office/) << <https://www.jasta-testa.jp/tes-office/> >>



Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆<繊維学会誌> 2025年8月号



<2024年度 繊維学会賞>

- 高分子電解質ブラシによる機能性表面の創出と水界面構造解析
小林元康

<公設試(その1)>

- 山形県の繊維産地と山形県工業技術センターの関わり 平田充弘
- 福島県ハイテクプラザ
- 茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所 小林哲也
- 郡内織物とともに120年:山形県産業技術センター 五十嵐哲也
- 栃木県産業技術センター繊維技術支援センター
- 栃木県産業技術センター細繊維技術支援センター
- 群馬県立繊維工業試験所の取り組み 田島 創

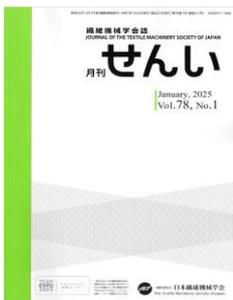
◆<繊維製品消費科学会誌> 2025年7月号



解説

- 信州大学繊維学部の見学施設について 京都女子大学 坂口明男
- 洗濯の環境負荷低減に繋がるすすぎゼロ洗浄技術の開発 ライオン(株) 武井亮太
- AMELTIS®を活用した新たな文化の創造へ
～繊維製品のサーキュラーエコノミーの実現に向けて～ 東和(株) 佐藤恵一
- 細巾織物の可縫性と事例紹介 井上リボン工業(株) 井上博之

◆<繊維機械学会誌> 2025年7月号



- 「滋賀県の地域産業に寄り添うパートナーシップ型公設試の新たな支援について
～チャレンジ、チェンジ、トライアル、ネットワーク構築の支援～」

滋賀県東北部工業技術センター 佐々木宗生

解説

- 「多種多様化するセルロースナノファイバー(CNF)の最新実用動向」 京都大学 北村和男
- 「炭素繊維及びその複合材料の最近の技術状況」 三菱ケミカル(株) 杉浦直樹
- 「ガラス繊維フィルタろ材「microfine®」」 北越コーポレーション(株) 佐藤 正

◆<日本技術士会誌> 2025年7月号



- 環境変化・異常気象対策技術

對馬一昭(機械) 武井 遼(経営工学) 枝村正芳(繊維) 村田裕子(水産)

- 気候変動緩和策としての地中熱利用 石田健介(機械・建設)

- 宇宙天気が引き起こす複合災害とその普及の重要性 気象予報士 斎田季実治

- 気候変動の影響を踏まえた下水道事業の雨水対策の計画支援技術 山下洋正(上下水道)

- なぜカーボンニュートラルに原子力が必要か? 藤本 望(原子力・放射線)

- 防災・減災支援活動の地域への展開

青原啓詞(応用理学) 内山省三(建設) 古川 智(建設)

◆<加工技術> 2025年7月号



- ウェアブルテキスタイルの最近の動向 故 福井大学 堀 照夫
- 知識ゼロからのセルロースの科学 魅せられた旅路 —セルロースの世界を夢飛行 5 Advanced Cosulting Partners 伊藤高廣
- 幡を縫った建礼門院 (一社)JTCC 八木健吉
- シルクへのいざない 元信州大学 塚田益裕
 - ・台湾の試験所を訪問された四方正義先生
 - ・シルクスポンジとその応用への可能性
 - ・蚕に関心を見せる小学生

◆<不織布情報> 2025年7月号



【素材特集】不織布原綿・高機能繊維、ナノファイバー

| | |
|--|----|
| ELV 指令の修正案に対する意見 / 日本化学繊維協会 炭素繊維協会委員会 | 6 |
| 異素材を組み合わせる独自の複合紡績技術を応用 炭素繊維複合糸「CfC yarn」 & ガラス繊維複合糸「GfC yarn」 / 東洋紡せんい | 9 |
| 独自のリン酸エステル化法開発の経緯と CNF スラリー / CNF シートの展開および今後の展望 / 王子ホールディングス | 14 |
| 高機能繊維「炭繊維」の服は丈夫で軽い その理由と人気の秘密 / Happiino | 20 |
| セルロースナノクリスタルを用いたバリア性紙コップ 「新エコクリスタルカップ」 / 東洋製罐グループホールディングス | 24 |
| プラスチックに代わるサステナブル素材 資源循環型社会を目指した素材やシステムの開発 / パナソニック ホールディングス | 27 |
| 体温で柔軟に変化するシート HUMOFIT® / 三井化学ファイン | 29 |
| 非熔融式圧縮再生装置 GP シリーズ ～実際の使用例から見るその実力～ / マルヤス | 31 |
| ○巻頭レポート 「産業用ナノファイバーイノベーション国際会議」 / エルマルコ | 33 |

◆<織研新聞>

○2025年1～6月 の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

| 順位 | 国 | ニット衣料 | | 布帛衣料 | | 合計 | | | |
|-----|----------|-------|-------|------|-------|-------|------|--------|------|
| | | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | シェア | 金額 | シェア |
| 1 | 中国 | 619 | 3,645 | 335 | 3,091 | 954 | 51.9 | 6,736 | 44.2 |
| | | 5.7 | 5.7 | 4.3 | ▲1.1 | — | — | — | — |
| 2 | ベトナム | 237 | 1,663 | 75 | 1,351 | 312 | 17.0 | 3,014 | 19.8 |
| | | 15.8 | 18.6 | 5.0 | 12.7 | — | — | — | — |
| 3 | バングラディシュ | 128 | 528 | 46 | 532 | 174 | 9.5 | 1,060 | 7.0 |
| | | 14.7 | 15.6 | 23.9 | 23.0 | — | — | — | — |
| 4 | カンボジア | 96 | 500 | 37 | 534 | 133 | 7.3 | 1,034 | 6.8 |
| | | 26.5 | 30.0 | 0.7 | 13.5 | — | — | — | — |
| 5 | ミャンマー | 64 | 286 | 56 | 594 | 120 | 6.5 | 880 | 5.8 |
| | | 34.1 | 31.4 | 23.9 | 13.4 | — | — | — | — |
| 6 | イタリア | 0.1 | 237 | 0.1 | 384 | 0.1 | 0.1 | 621 | 4.1 |
| | | ▲8.9 | 3.3 | ▲7.0 | 5.8 | — | — | — | — |
| 7 | インドネシア | 23 | 189 | 21 | 312 | 44 | 2.4 | 501 | 3.3 |
| | | 4.0 | 5.2 | ▲5.5 | ▲0.6 | — | — | — | — |
| 8 | その他 | 67 | 653 | 32 | 707 | 99 | 5.4 | 1,360 | 8.9 |
| | | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 全世界 | | 1,235 | 7,701 | 604 | 7,505 | 1,837 | 100 | 15,206 | 100 |
| | | 10.7 | 10.8 | 6.3 | 5.1 | — | — | — | — |

出所:日本貿易統計

★ 日本繊維技術士センターの本部事務所の住所が変わりました。

〒550-0004 大阪市西区靱本町2丁目7番4号 シヅカビル 502

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先: jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 広報委員会 JTCC ニュース担当 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市西区靱本町2丁目7番4号 シヅカビル 502

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469